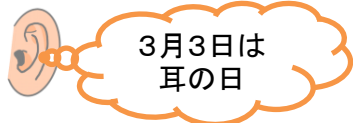


暖かい日が少しずつ増えてきました。この頃に降る優しい雨を甘雨といいます。草木にやわらかく注ぎ、草木の成長を促す雨という意味だそうです。コロナ禍の中であって大変でしたが、いろんな人の温かい思いやりや言葉が甘雨のように降り注いだかもしれませんね。



3月3日は
耳の日

耳をたいせつにしよう

3月3日は耳の日です。耳は大切な感覚器の1つです、乳幼児期は、言葉を聞いて習得するため、言葉の発達にとって重要な時期です。そのため聞こえにくさなどがあると、言葉の発達が十分にできません。子どもを呼んでも気付かなかったり、いつもより大きな声で話していたりする時は、耳鼻科を受診しましょう。



耳垢にも役割があります。耳の穴の皮膚は敏感なので、細菌やカビが繁殖しないように耳垢が持っていてくれます。

細菌が増えるのを防ぐよ

耳の中の皮膚を守っているよ

虫が耳に入ってくるのをガードしているよ

又、耳垢には苦みがあるので、虫が耳の中に入るのを防ぎます。耳そうじのとき、綿棒などで、奥までいじったり、強くこすったりすると、耳を傷つけてしまい耳のトラブルにつながります。でも、全くしないと耳垢が詰まってしまう。耳そうじをするなら、お風呂上りなどに、入口を軽く拭き取るくらいがいいですよ。



3月7日は、「子どもの予防接種」です 予防接種は進んでいますか？

母子健康手帳を確認しましょう。



「子どもの予防接種週間」は、入園、入学前に保護者の予防接種への関心を高め、予防接種の向上を図るため実施されているものです。昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行によって、予防接種を控えていたお子さんが多いのではないのでしょうか。ワクチンの定期接種は時期が決まっています。接種もれがないように注意しましょう。



鼻のかみ方 楽しく練習しませんか？

子どもにとって、鼻をかむのは難しいことです。でも、鼻水を放っておくと中耳炎などのトラブルにつながることもあります。



まずは鼻から上手に息を出せるように、楽しく練習をしてみましょう。

ティッシュ飛ばし

必ず
口を閉じるのが
ポイント

- ①小さくちぎったティッシュを机の上に置く
- ②片方の鼻の穴をおさえながら、鼻息だけで吹き飛ばす
- ③反対の鼻でもチャレンジ！

親子で飛ばしっこをして、競争するのもおすすめです。

上手にできたら、自分で鼻をかめるようになっていくかもしれません。

実際に鼻をかむときは、ゆっくり優しくと教えてあげてください。

